

FUSIONなら蛍光ウェスタンブロットも安心です！



昨今、“蛍光ウェスタンブロットに興味がある”というお客様が増えています。

蛍光ウェスタンブロットには定量性の高さや多重染色など、一般的なケミルミ検出と比べてメリットも多いのですが、新しい実験系立ち上げの手間やコストを考えるとその足を踏まれているお客様も多いようです。

ケミルミ検出においては既に高感度のイメージャーとして定評のあるFUSIONですが、蛍光ウェスタンにおいても高い性能を発揮します。

さらに、エムエス機器ではBiotium社（ビオチウム）の近赤外/赤外蛍光色素を取り扱っており、アプリケーション面からのサポートも可能です。

FusionとBiotium蛍光色素で蛍光ウェスタンに対するお客様の下記のような不安を解消致します！

検出感度が低いのでは…？



FUSIONは蛍光ウェスタンにおいても低バックグラウンド・高感度の撮影が可能です

蛍光オプションは高額…。



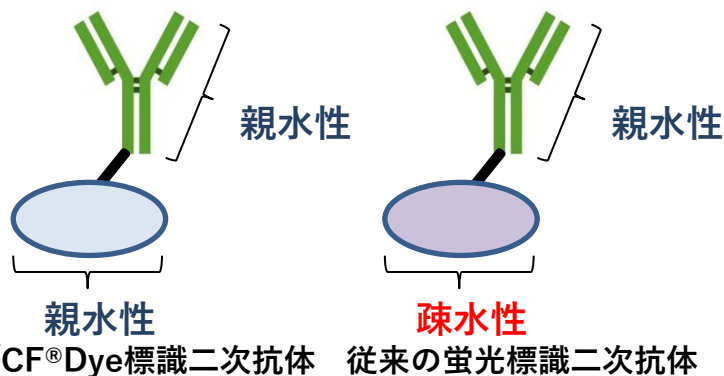
FUSIONは必要な部品のみを選択して取り付け可能低コストで蛍光観察が始められます。

プロトコルの見直しは手間がかかる…。



Biotium社のCF™ Dyeは2次抗体を変えるだけ！プロトコルの検討は不要です

CF®Dyeの構造



CF®Dye は化学発光系で用いられるHRPと同様親水性であるため、今お使いのバッファーがそのまま使用できます。